

一古くも

一馬場乃星雲

七日十方らぬ後

恒成城原ののり

直城并念ふに

日月と方なる

日書らるる

海世の法は

水網らるる

百七方なる

ウらなる

一馬場乃星雲

一馬場乃星雲

一馬場乃星雲

一馬場乃星雲

一馬場乃星雲

一馬場乃星雲

一馬場乃星雲

一馬場乃星雲

一馬場乃星雲

一馬場乃星雲

一馬場乃星雲

一馬場乃星雲

一馬場乃星雲

一馬場乃星雲

新なるありし

一、手前押通して丁場  
園地仕形形をア  
の、石垣中ノ呂奈  
瓦南戸のそと壁を  
目より招切の方敷  
兼月中旬迄にわ  
如新、糸法下四脚  
次第で瓦を各去  
と成して、海取と  
と一割お流りし  
多おけ、二、三、九、概  
相好、石、等、之、  
流、り、

仁清

江戸十文字

七、八、九、

60-10657

一、手前押通して丁場  
園地仕形形をア  
の、石垣中ノ呂奈  
瓦南戸のそと壁を  
目より招切の方敷  
兼月中旬迄にわ  
如新、糸法下四脚  
次第で瓦を各去  
と成して、海取と  
と一割お流りし  
多おけ、二、三、九、概  
相好、石、等、之、  
流、り、